

低血糖症状と対処方法について

低血糖値とは

一般に血糖値が 70 mg/dl 以下のことをさします。

低血糖はこんなときに起こりやすい！

※たかべクリニック通信 Vol.1 参照

低血糖症状の対処方法

意識がある

★すぐにブドウ糖や砂糖を 5-10g 程度摂取し水を飲む
(固形物より液体が早く吸収される)。**15分後**に血糖値

が **70 mg/dl 以下**の場合は再度を摂取する。当院では持ち運びしやすい

★ジュースを 150~200ml 摂取する



意識がない

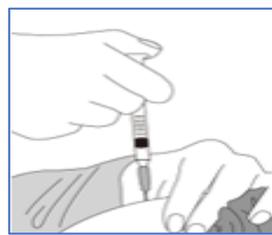
***グルカゴン 1mg**を家族に筋肉注射してもらう
→難点：家族に注射手技を獲得してもらう必要があり
ハードルが高く迅速に対応できない可能性がある



危険	30mg/dl 以下	50mg/dl 以下	70mg/dl 以下
	意識障害 痙攣 昏睡状態	集中力の低下 取り乱す(錯乱) 脱力 めまい 疲労感 ろれつが回らなくなる ものが二重に見える	発汗 手足のふるえ 体が熱く感じる 動悸 不安感 吐き気
	死亡する ケースも...		

低血糖時の治療の食品例

炭水化物 (ブドウ糖含有) を含む食品例	炭水化物量 (g)	炭水化物量 15g~20g に相当する分量 (低血糖時の目安)
コカ・コーラ 1 缶 350ml	37.8g	140~185ml (1 缶の半量)
オレンジジュース 1 缶 350ml	37.5g	140~185ml (1 缶の半量)
サイダー 1 缶 350ml	38.5g	140~180ml (1 缶の半量)
スポーツドリンク (※加工糖のみ) 1 ボトル 500ml	38.5g	220~300ml (1 ボトルの半量)
缶コーヒー 1 缶 190ml	13.1g	220~290ml
缶カフェオレ 1 缶 190ml	15.9g	180~240ml (1 缶)
ミルクティー 1 ボトル 280ml	19.6g	215~285ml (1 本)



【新しいお薬】

***バクシミ一点鼻粉末剤 (3mg)** (3 割負担で約 2500 円) を家族に点鼻してもらう。
利点→点鼻薬のため家族によるグルカゴン投与のハードルがぐっと下がり迅速に使用できる。3 ステップで投与可能。

- ・薬剤は点鼻容器に充填されており、鼻粘膜で吸収されるため調製作業が不要です。
- ・30 分以内に血漿中グルコース濃度が 70mg/dL 以上に上昇、また最低値から 20mg/dL 以上に上昇するとの報告

がされています。投与成功率も 89.5%と高いことが実証されています。

※低血糖から回復するまでにかかった時間は、グルカゴンの筋肉注射で平均 **11 分**、バクシミ一点鼻粉末剤で平均 **12 分**との報告があります。



グルカゴン製剤で対処された場合は必ず主治医に連絡し相談をしましょう。

投与後 20 分でも意識障害が改善しない時はすぐに医療機関への受診をしましょう。

